

令和6年度「官民連携・共創による緑の保全・活用」企画・運営等支援業務委託

1. 委託業務名

令和6年度「官民連携・共創による緑の保全・活用」企画・運営等支援業務委託

2. 業務目的

本県には、秩父の山林、県西部から県北部にかけての里地里山、武蔵野の面影を残す平地林、平地に広がる田園と屋敷林など、多様な地形に多彩な緑が数多く残されている。

こうした様々な緑を地域の財産として守り育てていくとともに、多様な機能を地域の持つ魅力・資源として最大限に生かすことが、「日本一暮らしやすい埼玉」の実現につながると考えている。また、「環境」「社会」「経済」面で多様な機能を有する緑は、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた取組の広がりやネイチャーポジティブを目指す様々な動きからも、地域における価値が一層高まってくることから、次世代に引き継ぐには、企業・団体、県民、行政等の多様な主体の参画による保全・活用を進める必要がある。

そのため、本業務では、令和5年度に実施した「官民連携・共創による緑の保全・活用」企画提案等業務委託（別添「参考資料」）の成果を踏まえ、多様な主体の参画による里山や平地林などの緑や自然の保全や活用を通じて、社会課題の解決、地域の魅力や価値向上を図るための仕組みや取組（プロジェクト）を総合的に推進するための企画・運営・コーディネート支援する事業者を公募型プロポーザルにて募集するものである。

3. 委託期間

契約締結日から令和7年2月14日まで

4. 委託業務の内容

（1）本業務の目的を踏まえ、次の業務を行うこと。

①新組織立ち上げ準備（組織への参画呼びかけ、セミナー等の実施）

県が別途設置する埼玉県 SDGs 官民連携プラットフォーム「里山・平地林検討部会」を活用・発展させた「新組織」の立ち上げ準備を行うとともに、市町村や企業等の積極的な参画を促す効果的な周知（呼びかけ）を行う。また、プロジェクト立ち上げを見据え、里山や平地林の現状や価値（例：生物多様性の保全、ネイチャーポジティブの実現）、解決に取り組むべき社会課題について、企業等が共有するための場や機会（セミナー等）を創出する。

②プロジェクト立ち上げ支援（企画立案アドバイス、ワークショップ等の実施）

①組織の参画メンバーによるプロジェクト企画立案のサポートとして、企画案の深耕やテーマ案に適した候補地情報等の情報提供を行う。プロジェクト発起者をリーダーとした候補プロジェクト案の目的や趣旨を周知し、①組織の参画メンバーのプロジェクト参加を促すためのワークショップについて、開催運営等の支援を行う。

③連携・マッチング支援（連携先・候補地検討、ワークショップ等）

①組織の参画メンバーに対して、興味や関心のあるプロジェクトテーマ（②で立ち上げ）及びどのようなパートナーや候補地（里山や平地林）とのマッチングを望むかについて確認

した上で、連携・マッチングを促すとともに、賛同者や参加者の輪を広げるワークショップ等を実施。なお、プロジェクトのマッチング件数は3件程度を想定。

(2) 報告書の作成

- ①本業務の実施内容を報告書として取りまとめ、提出する。
- ②業務履行期間にあわせ、年間の本業務の検証及び次年度に向けた課題等について報告書に整理する。
- ③ ①②を踏まえ、シンポジウム*報告への対応を行う。

*埼玉県SDGs官民連携プラットフォームシンポジウム：令和5年度は令和6年2月8日に開催

(3) その他

- ①セミナーや会議等の開催にあたり、民間のホール、会議室等を要する場合の使用料については、契約代金に含まれるものとする。
- ②セミナー等において、有識者等を招へいする必要がある場合の交通費や謝金については、契約代金に含まれるものとする。
- ③本業務の遂行や上記①②実施にあたって、広報・周知の効果を高めるため、様々な広報媒体の活用を検討すること。
- ④発注者との定例打合せ（月1回程度）を実施し、打合せ記録を作成すること。
- ⑤その他の事項については発注者と協議し決定する。

5 業務スケジュール

- ①セミナー開催（6月下旬～7月中旬）
- ②プロジェクト立ち上げ（～10月上旬）
- ③マッチング（3件程度）（～12月末）
- ④シンポジウム報告（2月上旬）

6 成果物

事業実施報告書（印刷物及び電子データ1式）